

(33)大玉相撲

実施形態	指導可能（指導依頼をせずに団体が自主で活動できる。）		自然体験・感性	克服・達成	創意・工夫	自主性・協働性	リフレッシュ・体力
提出書類	指導依頼用紙 ※団体が自主で活動する場合は提出不要						
必要経費	なし			★			★★★
概要 (セールスポイント)	大きなボールをお互いに押し合い、相手を土俵から押し出す、押し相撲のことです。幼児期に必要な「押す」「抑える」「支える」「持つ」等の動きの獲得に期待できます。						
諸条件	場所	武道場 体育館		対象	幼稚園、保育園等の幼児		
	所用時間	1時間～1.5時間		人数	30名程度		
	時期	通年		天候	関係なし		
準備するもの	青少年交流の家で貸し出し可能な物			団体に準備する物			
	マット 土俵マット バランスボール			運動のできる服装 笛 ※手足の爪はケガ防止のため事前に切っておく。 ※大玉相撲を行う際、対戦相手同士でありあまり体格差がないようにすることや、土俵マットの周囲をマットで囲み、参加者の安全の確保を行う。			
活動内容 (手順) ※指導依頼があった場合の進め方の一例	所用時間	項目	内容				備考
	10分	準備・事前指導 安全指導	【団体もしくは交流の家職員】 ・道具の受け取りを行う。 ・ルール説明・諸注意				
	約30分	活動	【団体】 ①準備運動・様々な運動遊び 【活動例1】 ボールを転がしたり、弾ませたりして、コースを回る。 【活動例2】 バランスボールに乗っている時間を競いあう。 【活動例3】 並べたマットの上を、前回りや後ろ回り、横回りで進む。 ②大玉相撲 ・お互いにボールを持って向き合い、行書の合図でボールを押し合いながら相手を土俵の外に押し出す。 ・ボールは持ち上げず、必ず土俵についた状態で押す。 ・ボールまたは体の一部が土俵から出てしまうと負けになる。 ・相手の体を直接手や足で触れてはいけない。				活動例1  活動例2  活動例3 
	約30分						
10分	後片付け	【団体】 ・人員、健康状態の確認、活動の振り返りを行う。 ・道具の返却を行う					